グローバル超好配当株式ファンド（隔月決算型）／（資産成長型）

運用報告書（全体版）

隔月決算型
- **第20期（決算日　2023年１月23日）**
- **第21期（決算日　2023年３月23日）**
- **第22期（決算日　2023年５月23日）**

資産成長型
- **第７期（決算日　2023年５月23日）**

（作成対象期間　2022年11月25日～2023年５月23日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式		
信託期間	2019年11月５日～2024年11月22日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	グローバル超好配当株式マザーファンドの受益証券	
	グローバル超好配当株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（ＤＲ（預託証券）を含みます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率		無制限
分配方針	隔月決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	
	資産成長型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

◇SUZ03401202305230◇

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、予想配当利回りが高い世界の株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

<3402>
<3401>

隔月決算型

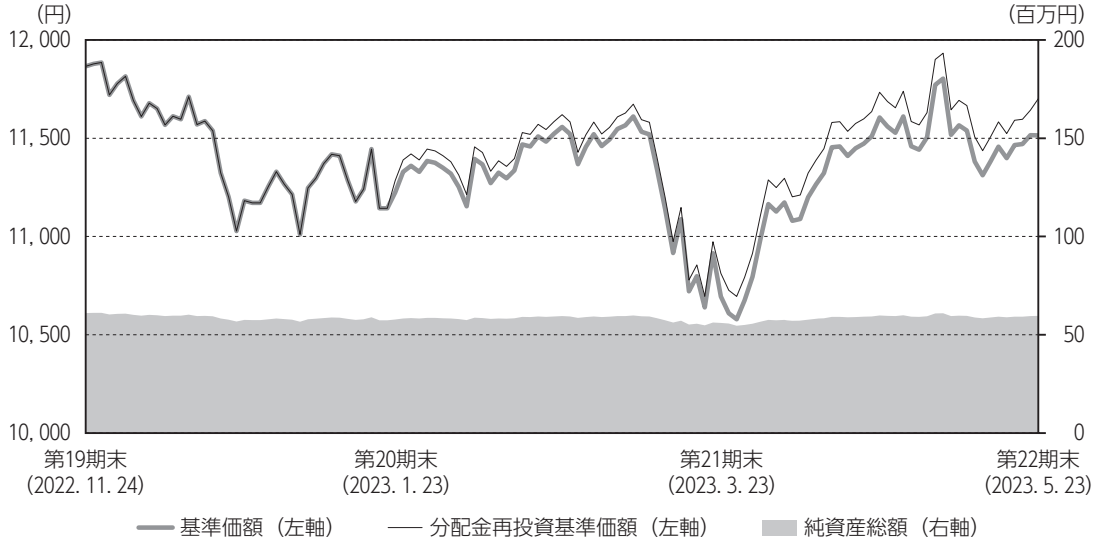
最近15期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World 指数（配当込み、円換算）		株式組入比率	株式先物比率	投資証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
8期末（2021年1月25日）	9,259	0	4.0	12,052	8.5	96.2	—	2.7	46
9期末（2021年3月23日）	10,526	0	13.7	12,815	6.3	97.1	—	1.8	52
10期末（2021年5月24日）	11,138	0	5.8	13,412	4.7	96.2	—	3.0	55
11期末（2021年7月26日）	10,986	0	△ 1.4	14,144	5.5	94.4	—	1.7	54
12期末（2021年9月24日）	10,838	0	△ 1.3	14,259	0.8	97.1	—	1.4	54
13期末（2021年11月24日）	11,059	0	2.0	15,281	7.2	94.9	—	1.3	55
14期末（2022年1月24日）	11,287	55	2.6	14,398	△ 5.8	96.8	—	0.4	56
15期末（2022年3月23日）	11,751	55	4.6	15,273	6.1	98.1	—	—	60
16期末（2022年5月23日）	11,620	55	△ 0.6	14,220	△ 6.9	96.8	—	—	58
17期末（2022年7月25日）	11,095	60	△ 4.0	15,166	6.7	94.4	—	—	57
18期末（2022年9月26日）	10,805	60	△ 2.1	14,755	△ 2.7	98.7	—	—	55
19期末（2022年11月24日）	11,866	60	10.4	15,712	6.5	98.8	—	—	61
20期末（2023年1月23日）	11,225	60	△ 4.9	14,935	△ 4.9	98.3	—	—	57
21期末（2023年3月23日）	10,695	60	△ 4.2	14,857	△ 0.5	97.6	—	—	56
22期末（2023年5月23日）	11,514	60	8.2	16,685	12.3	98.3	—	—	59

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）MSCI AC World 指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCI AC World 指数（配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World 指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html]
（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注5）組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注6）株式先物比率は買建比率－売建比率です。

運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第20期首：11, 866円
第22期末：11, 514円（既払分配金180円）
騰 落 率：△1. 4%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資した結果、世界株式市況は成長株を中心に上昇しましたが、投資している企業の株式は米国銀行の経営破綻などから嫌気され、基準価額は下落しました。

グローバル超好配当株式ファンド（隔月決算型）

	年　月　日	基準価額		MSCI AC World指数（配当込み、円換算）		株式組入比率	株式先物比率	投資証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率			
		円	%		%	%	%	%
第20期	（期首）2022年11月24日	11,866	—	15,712	—	98.8	—	—
	11月末	11,778	△ 0.7	15,530	△ 1.2	98.6	—	—
	12月末	11,214	△ 5.5	14,619	△ 7.0	98.4	—	—
	（期末）2023年1月23日	11,285	△ 4.9	14,935	△ 4.9	98.3	—	—
第21期	（期首）2023年1月23日	11,225	—	14,935	—	98.3	—	—
	1月末	11,350	1.1	15,252	2.1	98.5	—	—
	2月末	11,521	2.6	15,633	4.7	98.6	—	—
	（期末）2023年3月23日	10,755	△ 4.2	14,857	△ 0.5	97.6	—	—
第22期	（期首）2023年3月23日	10,695	—	14,857	—	97.6	—	—
	3月末	11,165	4.4	15,585	4.9	98.1	—	—
	4月末	11,504	7.6	15,943	7.3	98.4	—	—
	（期末）2023年5月23日	11,574	8.2	16,685	12.3	98.3	—	—

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について （2022. 11. 25 ～ 2023. 5. 23）

■世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首より、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しましたが、2022年12月末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化懸念などから下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の鈍化でＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースが減速するとの期待などから上昇しました。２月から３月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、ＦＲＢによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。４月以降は、地方銀行の経営不安が再燃する一方、予想を上回る企業決算の発表が好感されるなど好悪材料が入り交じり、おおむね横ばいで推移して当作成期末を迎えました。

■為替相場

為替相場は、まちまちな動きとなりました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、インフレ率の低下期待などから米国金利が低下したことで日米金利差の縮小が意識され、円高米ドル安基調となりました。2022年12月は、日銀が想定外の政策修正を行ったことで金融緩和政策の転換などが意識され、日本の長期金利が大きく上昇するとともに円高米ドル安が進行しました。2023年に入ってからも米ドルは弱含んで推移しましたが、２月以降は、堅調な米国経済などを背景に米国金利が再び上昇に転じたことで、米ドルは対円で買い戻されました。その後は、信用不安の拡大により米国金利が大きく低下したことや、リスク回避による円買い需要の高まりなどから円高米ドル安の場面はありましたが、堅調な米国経済指標などを背景に利上げ期待が高まり、米ドルは対円で再び上昇基調になりました。米ドル以外の通貨は、まちまちの動きとなりました。ユーロや英ポンドは、中央銀行による金融引き締めの継続などを背景に対円で上昇しました。一方で、資源国通貨であるカナダ・ドルやノルウェー・クローネは、資源価格の下落を背景に、対円で軟調な推移となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「グローバル超好配当株式マザーファンド」の受益証券を通じて、予想配当利回りが高い世界の

株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

■グローバル超好配当株式マザーファンド

日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資します。ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行うことを基本とします。

・定量的なアプローチにより、予想配当利回りや配当の持続性と安定性、時価総額等の観点から投資対象ユニバースを選定します。
・投資対象ユニバースの中から、徹底したボトムアップアプローチにより、配当の持続性と安定性等に着目した定性的な分析・調査を行い、投資候補銘柄を選定します。
・投資候補銘柄の中から、ポートフォリオの地域・セクターの分散やリスクを考慮しつつ、ポートフォリオの予想配当利回りが相対的に高水準になるよう各銘柄の組入比率を決定します。

ポートフォリオについて （2022. 11. 25 ～ 2023. 5. 23）

■当ファンド

「グローバル超好配当株式マザーファンド」の受益証券を通じて、予想配当利回りが高い世界の株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。

■グローバル超好配当株式マザーファンド

日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資しました。ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行うことを基本としました。

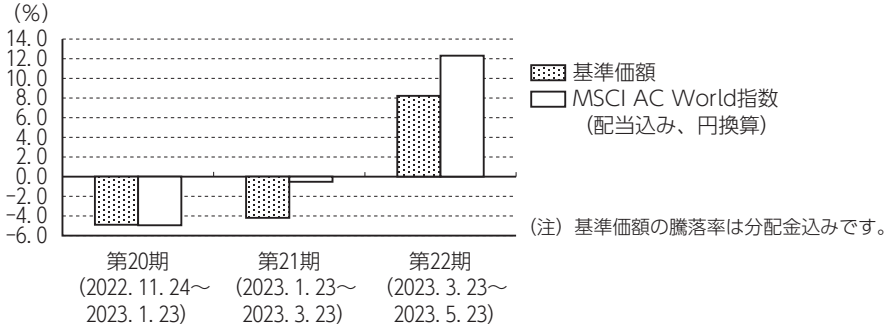
・定量的なアプローチにより、予想配当利回りや配当の持続性と安定性、時価総額等の観点から投資対象ユニバースを選定します。
・投資対象ユニバースの中から、徹底したボトムアップアプローチにより、配当の持続性と安定性等に着目した定性的な分析・調査を行い、投資候補銘柄を選定します。
・投資候補銘柄の中から、ポートフォリオの地域・セクターの分散やリスクを考慮しつつ、ポートフォリオの予想配当利回りが相対的に高水準になるよう各銘柄の組入比率を決定します。

国・地域別では、米国やイタリア、スイスなどを組入上位としました。

個別銘柄では、IBERDROLA SA（スペイン）、ENEL SPA（イタリア）、GILEAD SCIENCES INC（米国）などを組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目			第20期 2022年11月25日 ～2023年１月23日	第21期 2023年１月24日 ～2023年３月23日	第22期 2023年３月24日 ～2023年５月23日
当期分配金（税込み）		**(円)**	**60**	**60**	**60**
	対基準価額比率	(%)	0.53	0.56	0.52
	当期の収益	(円)	22	60	60
	当期の収益以外	(円)	37	—	—
翌期繰越分配対象額		(円)	1,864	1,881	1,981

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
（注４）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項　　目	第20期		第21期		第22期	
（a）経費控除後の配当等収益	✓	22. 37円	✓	76. 35円	✓	159. 99円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益		0. 00		0. 00		0. 00
（c）収益調整金		112. 78		145. 11		153. 55
（d）分配準備積立金	✓	1, 788. 99		1, 719. 64		1, 727. 84
（e）当期分配対象額（a＋b＋c＋d）		1, 924. 14		1, 941. 11		2, 041. 39
（f）分配金		60. 00		60. 00		60. 00
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）		1, 864. 14		1, 881. 11		1, 981. 39

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

「グローバル超好配当株式マザーファンド」の受益証券を通じて、予想配当利回りが高い世界の株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

■グローバル超好配当株式マザーファンド

日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資します。ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行うことを基本とします。

・定量的なアプローチにより、予想配当利回りや配当の持続性と安定性、時価総額等の観点から投資対象ユニバースを選定します。
・投資対象ユニバースの中から、徹底したボトムアップアプローチにより、配当の持続性と安定性等に着目した定性的な分析・調査を行い、投資候補銘柄を選定します。
・投資候補銘柄の中から、ポートフォリオの地域・セクターの分散やリスクを考慮しつつ、ポートフォリオの予想配当利回りが相対的に高水準になるよう各銘柄の組入比率を決定します。

1万口当りの費用の明細

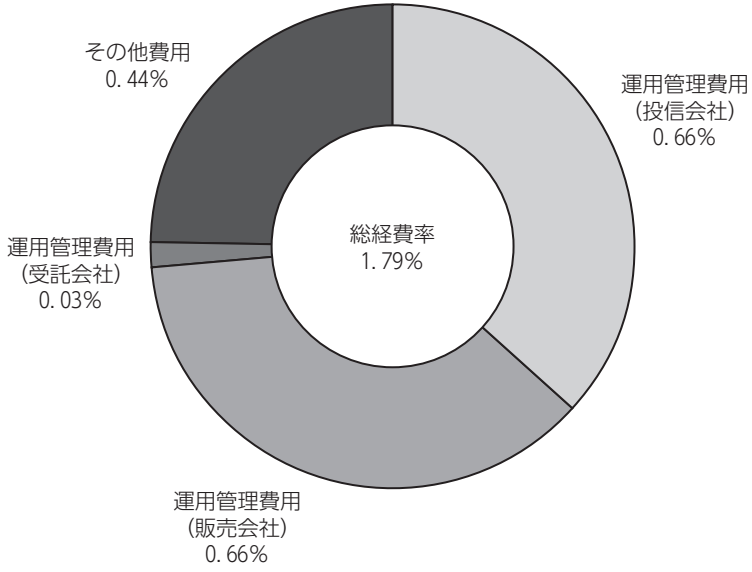
項　　目	第20期～第22期 (2022. 11. 25～2023. 5. 23)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	76円	0. 666%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は11, 357円です。**
（投 信 会 社）	(37)	(0. 325)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(37)	(0. 325)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0. 016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	5	0. 045	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株　　式）	(5)	(0. 045)	
有価証券取引税	2	0. 014	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株　　式）	(2)	(0. 014)	
そ の 他 費 用	25	0. 218	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(24)	(0. 208)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0. 002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(1)	(0. 007)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	107	0. 944	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.79%です。



（注１）１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2022年11月25日から2023年５月23日まで）

決算期	第20期～第22期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
グローバル超好配当株式マザーファンド	1,016	1,200	1,844	2,200

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2022年11月25日から2023年５月23日まで）

項目	第20期～第22期
	グローバル超好配当株式マザーファンド
（a）期中の株式売買金額	34,963千円
（b）期中の平均組入株式時価総額	126,427千円
（c）売買高比率 （a）／（b）	0.27

（注１）（b）は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
（注２）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首保有額	当作成期中設定額	当作成期中解約額	当作成期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
50	—	—	50	当初設定時における取得

（注１）金額は元本ベース。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第19期末	第22期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
グローバル超好配当株式マザーファンド	47,790	46,962	59,431

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年５月23日現在

項目	第22期末	
	評価額	比率
	千円	%
グローバル超好配当株式マザーファンド	59,431	99.0
コール・ローン等、その他	605	1.0
投資信託財産総額	60,036	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、５月23日における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝138.48円、１カナダ・ドル＝102.62円、１オーストラリア・ドル＝92.23円、１香港・ドル＝17.69円、１シンガポール・ドル＝102.90円、１台湾・ドル＝4.512円、１イギリス・ポンド＝172.32円、１スイス・フラン＝154.23円、１ノルウェー・クローネ＝12.70円、１スウェーデン・クローネ＝13.13円、１ブラジル・レアル＝27.867円、100韓国・ウォン＝10.58円、１オフショア・人民元＝19.646円、１タイ・バーツ＝4.00円、１ユーロ＝149.77円です。
（注３）グローバル超好配当株式マザーファンドにおいて、第22期末における外貨建純資産（121,461千円）の投資信託財産総額（133,534千円）に対する比率は、91.0％です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2023年１月23日）、（2023年３月23日）、（2023年５月23日）現在

項　　目	第20期末	第21期末	第22期末
（A）資産	**58,233,709円**	**56,522,000円**	**60,036,263円**
コール・ローン等	553,139	550,068	605,198
グローバル超好配当株式マザーファンド（評価額）	57,680,570	55,971,932	59,431,065
（B）負債	**440,182**	**442,923**	**444,227**
未払収益分配金	308,921	314,612	310,538
未払信託報酬	130,763	127,340	132,222
その他未払費用	498	971	1,467
（C）純資産総額（A－B）	**57,793,527**	**56,079,077**	**59,592,036**
元本	51,486,837	52,435,421	51,756,451
次期繰越損益金	6,306,690	3,643,656	7,835,585
（D）受益権総口数	**51,486,837口**	**52,435,421口**	**51,756,451口**
１万口当り基準価額（C／D）	**11,225円**	**10,695円**	**11,514円**

＊当作成期首における元本額は51,458,760円、当作成期間（第20期～第22期）中における追加設定元本額は1,222,798円、同解約元本額は925,107円です。
＊第22期末の計算口数当りの純資産額は11,514円です。

■損益の状況

第20期　自 2022年11月25日　至 2023年１月23日
第21期　自 2023年１月24日　至 2023年３月23日
第22期　自 2023年３月24日　至 2023年５月23日

項　　目	第20期	第21期	第22期
（A）配当等収益	△ **1円**	**―円**	**―円**
支払利息	△ 1	―	―
（B）有価証券売買損益	△ **2,857,102**	△ **2,308,661**	**4,666,583**
売買益	―	2,557	4,674,788
売買損	△ 2,857,102	△ 2,311,218	△ 8,205
（C）信託報酬等	△ **131,261**	△ **127,813**	△ **132,718**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	△ **2,988,364**	△ **2,436,474**	**4,533,865**
（E）前期繰越損益金	**9,090,249**	**5,792,869**	**2,988,283**
（F）追加信託差損益金	**513,726**	**601,873**	**623,975**
（配当等相当額）	(580,710)	(760,903)	(794,730)
（売買損益相当額）	(△ 66,984)	(△ 159,030)	(△ 170,755)
（G）合計（D＋E＋F）	**6,615,611**	**3,958,268**	**8,146,123**
（H）収益分配金	△ **308,921**	△ **314,612**	△ **310,538**
次期繰越損益金（G＋H）	**6,306,690**	**3,643,656**	**7,835,585**
追加信託差損益金	513,726	601,873	623,975
（配当等相当額）	(580,710)	(760,903)	(794,730)
（売買損益相当額）	(△ 66,984)	(△ 159,030)	(△ 170,755)
分配準備積立金	9,017,205	9,102,823	9,460,244
繰越損益金	△ 3,224,241	△ 6,061,040	△ 2,248,634

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第20期	第21期	第22期
(a) 経費控除後の配当等収益	115,178円	400,378円	828,064円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0
(c) 収益調整金	580,710	760,903	794,730
(d) 分配準備積立金	9,210,948	9,017,057	8,942,718
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	9,906,836	10,178,338	10,565,512
(f) 分配金	308,921	314,612	310,538
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	9,597,915	9,863,726	10,254,974
(h) 受益権総口数	51,486,837口	52,435,421口	51,756,451口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ			
	第20期	第21期	第22期
1万口当り分配金（税込み）	60円	60円	60円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

資産成長型

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World 指数（配当込み、円換算）		株式組入比率	株式先物比率	投資証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
3期末（2021年5月24日）	11,147	0	25.2	13,412	20.7	96.1	—	3.0	55
4期末（2021年11月24日）	11,066	0	△ 0.7	15,281	13.9	94.7	—	1.3	55
5期末（2022年5月23日）	11,802	0	6.7	14,220	△ 6.9	96.8	—	—	67
6期末（2022年11月24日）	12,240	0	3.7	15,712	10.5	98.7	—	—	69
7期末（2023年5月23日）	12,074	0	△1.4	16,685	6.2	98.3	—	—	72

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）MSCI AC World 指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCI AC World 指数（配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World 指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html]

（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

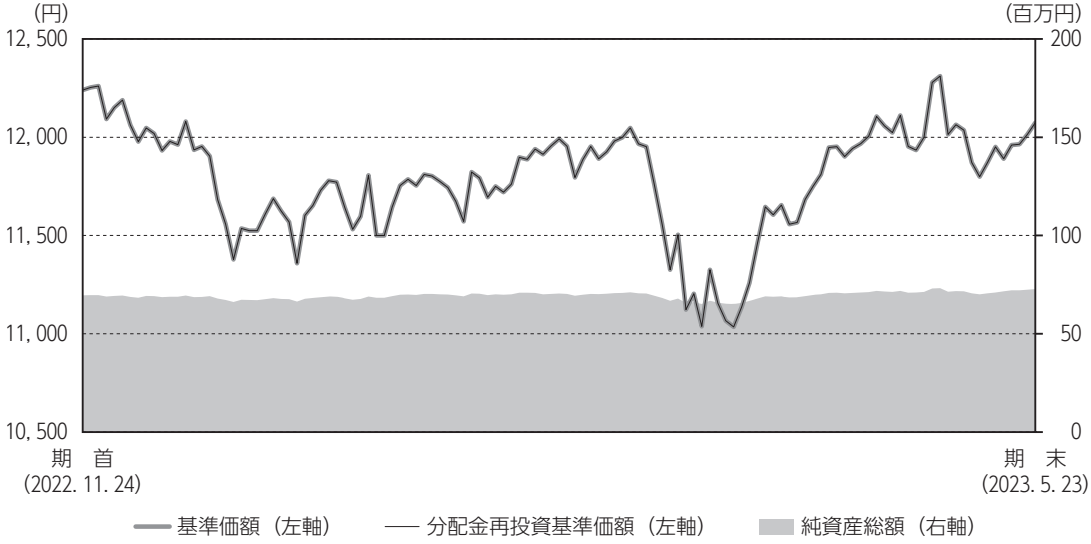
（注4）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

（注5）組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

（注6）株式先物比率は買建比率－売建比率です。

運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期　首：12, 240円
期　末：12, 074円（分配金 0 円）
騰落率：△1. 4％（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資した結果、世界株式市況は成長株を中心に上昇しましたが、投資している企業の株式は米国銀行の経営破綻などから嫌気され、基準価額は下落しました。

グローバル超好配当株式ファンド（資産成長型）

年　月　日	基準価額		MSCI AC World 指数（配当込み、円換算）		株式組入比率	株式先物比率	投資証券組入比率
		騰落率	（参考指数）	騰落率			
	円	%		%	%	%	%
（期首）2022年11月24日	12,240	—	15,712	—	98.7	—	—
11月末	12,151	△ 0.7	15,530	△ 1.2	98.4	—	—
12月末	11,569	△ 5.5	14,619	△ 7.0	98.3	—	—
2023年1月末	11,775	△ 3.8	15,252	△ 2.9	98.5	—	—
2月末	11,953	△ 2.3	15,633	△ 0.5	98.6	—	—
3月末	11,646	△ 4.9	15,585	△ 0.8	98.1	—	—
4月末	12,000	△ 2.0	15,943	1.5	98.3	—	—
（期末）2023年5月23日	12,074	△ 1.4	16,685	6.2	98.3	—	—

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について （2022. 11. 25 ～ 2023. 5. 23）

■世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首より、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しましたが、2022年12月末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化懸念などから下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の鈍化でＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースが減速するとの期待などから上昇しました。２月から３月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、ＦＲＢによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。４月以降は、地方銀行の経営不安が再燃する一方、予想を上回る企業決算の発表が好感されるなど好悪材料が入り交じり、おおむね横ばいで推移して当作成期末を迎えました。

■為替相場

為替相場は、まちまちな動きとなりました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、インフレ率の低下期待などから米国金利が低下したことで日米金利差の縮小が意識され、円高米ドル安基調となりました。2022年12月は、日銀が想定外の政策修正を行ったことで金融緩和政策の転換などが意識され、日本の長期金利が大きく上昇するとともに円高米ドル安が進行しました。2023年に入ってからも米ドルは弱含んで推移しましたが、２月以降は、堅調な米国経済などを背景に米国金利が再び上昇に転じたことで、米ドルは対円で買い戻されました。その後は、信用不安の拡大により米国金利が大きく低下したことや、リスク回避による円買い需要の高まりなどから円高米ドル安の場面はありましたが、堅調な米国経済指標などを背景に利上げ期待が高まり、米ドルは対円で再び上昇基調になりました。米ドル以外の通貨は、まちまちの動きとなりました。ユーロや英ポンドは、中央銀行による金融引き締めの継続などを背景に対円で上昇しました。一方で、資源国通貨であるカナダ・ドルやノルウェー・クローネは、資源価格の下落を背景に、対円で軟調な推移となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「グローバル超好配当株式マザーファンド」の受益証券を通じて、予想配当利回りが高い世界の

株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

■グローバル超好配当株式マザーファンド

日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資します。ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行うことを基本とします。

・定量的なアプローチにより、予想配当利回りや配当の持続性と安定性、時価総額等の観点から投資対象ユニバースを選定します。
・投資対象ユニバースの中から、徹底したボトムアップアプローチにより、配当の持続性と安定性等に着目した定性的な分析・調査を行い、投資候補銘柄を選定します。
・投資候補銘柄の中から、ポートフォリオの地域・セクターの分散やリスクを考慮しつつ、ポートフォリオの予想配当利回りが相対的に高水準になるよう各銘柄の組入比率を決定します。

ポートフォリオについて （2022. 11. 25 ～ 2023. 5. 23）

■当ファンド

「グローバル超好配当株式マザーファンド」の受益証券を通じて、予想配当利回りが高い世界の株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。

■グローバル超好配当株式マザーファンド

日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資しました。ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行うことを基本としました。

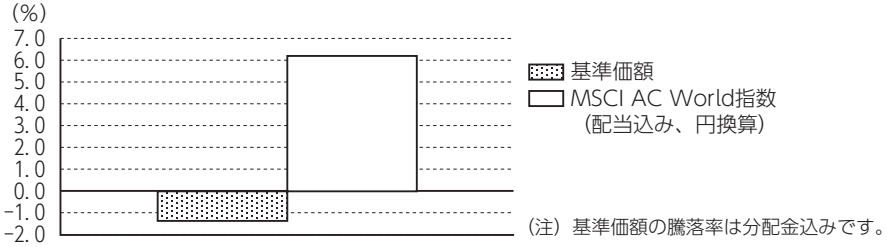
・定量的なアプローチにより、予想配当利回りや配当の持続性と安定性、時価総額等の観点から投資対象ユニバースを選定します。
・投資対象ユニバースの中から、徹底したボトムアップアプローチにより、配当の持続性と安定性等に着目した定性的な分析・調査を行い、投資候補銘柄を選定します。
・投資候補銘柄の中から、ポートフォリオの地域・セクターの分散やリスクを考慮しつつ、ポートフォリオの予想配当利回りが相対的に高水準になるよう各銘柄の組入比率を決定します。

国・地域別では、米国やイタリア、スイスなどを組入上位としました。

個別銘柄では、IBERDROLA SA（スペイン）、ENEL SPA（イタリア）、GILEAD SCIENCES INC（米国）などを組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項目			当期 2022年11月25日 ～2023年5月23日
当期分配金（税込み）		**(円)**	**—**
	対基準価額比率	(%)	—
	当期の収益	(円)	—
	当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額		(円)	2,203

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

今後の運用方針

■当ファンド

「グローバル超好配当株式マザーファンド」の受益証券を通じて、予想配当利回りが高い世界の株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

■グローバル超好配当株式マザーファンド

日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資します。ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行うことを基本とします。

・定量的なアプローチにより、予想配当利回りや配当の持続性と安定性、時価総額等の観点から投資対象ユニバースを選定します。
・投資対象ユニバースの中から、徹底したボトムアップアプローチにより、配当の持続性と安定性等に着目した定性的な分析・調査を行い、投資候補銘柄を選定します。
・投資候補銘柄の中から、ポートフォリオの地域・セクターの分散やリスクを考慮しつつ、ポートフォリオの予想配当利回りが相対的に高水準になるよう各銘柄の組入比率を決定します。

1万口当りの費用の明細

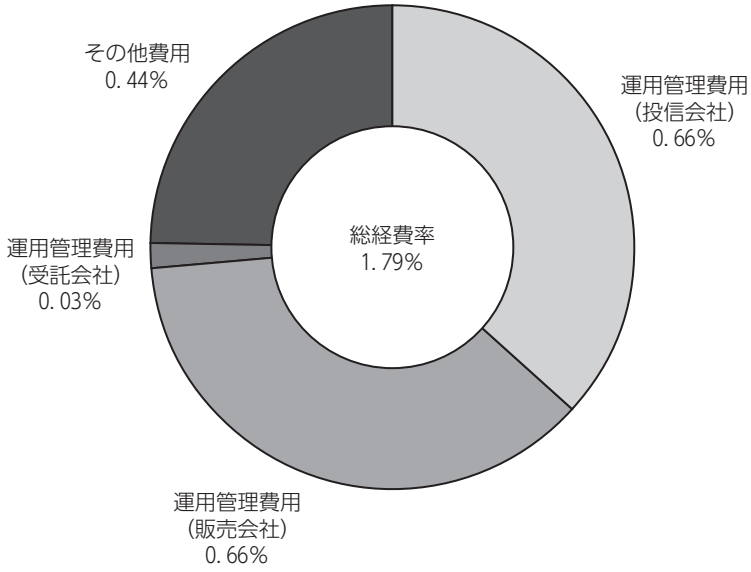
項　　目	当　期 (2022. 11. 25～2023. 5. 23)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	79円	0. 667%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は11, 783円です。**
（投 信 会 社）	(38)	(0. 325)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(38)	(0. 325)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0. 016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	5	0. 045	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株　　式）	(5)	(0. 045)	
有価証券取引税	2	0. 015	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株　　式）	(2)	(0. 015)	
そ の 他 費 用	26	0. 219	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(25)	(0. 209)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(1)	(0. 007)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	112	0. 946	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.79%です。



（注１）１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2022年11月25日から2023年５月23日まで）

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
グローバル超好配当株式マザーファンド	4,240	5,200	1,292	1,600

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2022年11月25日から2023年５月23日まで）

項目	当期
	グローバル超好配当株式マザーファンド
（a）期中の株式売買金額	34,963千円
（b）期中の平均組入株式時価総額	126,427千円
（c）売買高比率 （a）／（b）	0.27

（注１）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
（注２）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首保有額	当作成期中設定額	当作成期中解約額	当作成期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
50	—	—	50	当初設定時における取得

（注１）金額は元本ベース。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	期首	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
グローバル超好配当株式マザーファンド	54,400	57,347	72,573

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年５月23日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
グローバル超好配当株式マザーファンド	72,573	99.1
コール・ローン等、その他	666	0.9
投資信託財産総額	73,240	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、５月23日における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝138.48円、１カナダ・ドル＝102.62円、１オーストラリア・ドル＝92.23円、１香港・ドル＝17.69円、１シンガポール・ドル＝102.90円、１台湾・ドル＝4.512円、１イギリス・ポンド＝172.32円、１スイス・フラン＝154.23円、１ノルウェー・クローネ＝12.70円、１スウェーデン・クローネ＝13.13円、１ブラジル・レアル＝27.867円、100韓国・ウォン＝10.58円、１オフショア・人民元＝19.646円、１タイ・バーツ＝4.00円、１ユーロ＝149.77円です。
（注３）グローバル超好配当株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（121,461千円）の投資信託財産総額（133,534千円）に対する比率は、91.0％です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年５月23日現在

項　　目	当　期　末
(A)資産	**73, 240, 141円**
コール・ローン等	666, 587
グローバル超好配当株式マザーファンド（評価額）	72, 573, 554
(B)負債	**464, 680**
未払信託報酬	462, 886
その他未払費用	1, 794
(C)純資産総額（A－B）	**72, 775, 461**
元本	60, 274, 579
次期繰越損益金	12, 500, 882
(D)受益権総口数	**60, 274, 579口**
１万口当り基準価額（C／D）	**12, 074円**

＊期首における元本額は56, 834, 721円、当作成期間中における追加設定元本額は4, 785, 859円、同解約元本額は1, 346, 001円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は12, 074円です。

■損益の状況

当期　自 2022年11月25日　至 2023年５月23日

項　　目	当　　期
(A)配当等収益	△ **24円**
支払利息	△ 24
(B)有価証券売買損益	△ **342, 694**
売買益	44, 227
売買損	△ 386, 921
(C)信託報酬等	△ **464, 680**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	△ **807, 398**
(E)前期繰越損益金	**10, 393, 377**
(F)追加信託差損益金	**2, 914, 903**
（配当等相当額）	(2, 889, 275)
（売買損益相当額）	(25, 628)
(G)合計（D＋E＋F）	**12, 500, 882**
次期繰越損益金（G）	**12, 500, 882**
追加信託差損益金	2, 914, 903
（配当等相当額）	(2, 889, 275)
（売買損益相当額）	(25, 628)
分配準備積立金	10, 393, 415
繰越損益金	△ 807, 436

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	当　　期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	2, 889, 275
(d) 分配準備積立金	10, 393, 415
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	13, 282, 690
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	13, 282, 690
(h) 受益権総口数	60, 274, 579口

＜補足情報＞

当ファンド（グローバル超好配当株式ファンド（隔月決算型）／（資産成長型））が投資対象としている「グローバル超好配当株式マザーファンド」の決算日（2022年11月24日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2023年５月23日現在におけるグローバル超好配当株式マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■グローバル超好配当株式マザーファンドの主要な売買銘柄

株　　式

（2022年11月25日から2023年５月23日まで）

買付				売付			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
ENEL SPA（イタリア）	7.1	5,472	770	WILLIAMS COS INC（アメリカ）	0.605	2,468	4,079
SNAM SPA（イタリア）	3.7	2,716	734	OGE ENERGY CORP（アメリカ）	0.45	2,180	4,846
MANULIFE FINANCIAL CORP（カナダ）	1	2,602	2,602	SOMPO ホールディングス	0.3	1,587	5,292
ALLIANZ SE-REG（ドイツ）	0.075	2,166	28,881	EXXON MOBIL CORP（アメリカ）	0.1	1,392	13,922
HANA FINANCIAL GROUP（韓国）	0.425	1,995	4,696	CAN IMPERIAL BK OF COMMERCE（カナダ）	0.2	1,158	5,790
ＭＳ＆ＡＤ	0.3	1,244	4,147	KT&G CORP（韓国）	0.125	1,128	9,029
GREAT-WEST LIFECO INC（カナダ）	0.325	1,238	3,810	BANK OF MONTREAL（カナダ）	0.09	1,109	12,332
RIO TINTO PLC（イギリス）	0.1	950	9,503	ABBVIE INC（アメリカ）	0.055	1,055	19,199
PING AN INSURANCE GROUP CO-H（中国）	1	948	948	WOODSIDE ENERGY GROUP LTD（オーストラリア）	0.225	686	3,051
SUN HUNG KAI PROPERTIES（香港）	0.5	943	1,886	BANK OF NOVA SCOTIA（カナダ）	0.1	678	6,788

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2023年５月23日現在におけるグローバル超好配当株式マザーファンド（104,310千口）の内容です。

(1)国内株式

銘柄		2023年５月23日現在	
		株数	評価額
		千株	千円
医薬品（18.8%）			
武田薬品		0.4	1,821
情報・通信業（26.5%）			
ソフトバンク		1.7	2,566
卸売業（28.4%）			
住友商事		0.4	1,061
三菱商事		0.3	1,689
銀行業（11.6%）			
三井住友フィナンシャルＧ		0.2	1,128
保険業（14.8%）			
ＭＳ＆ＡＤ		0.3	1,431
		千株	千円
合計	株数、金額	3.3	9,698
	銘柄数＜比率＞	6銘柄	＜7.3%＞

（注１）銘柄欄の（　）内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
（注２）合計欄の＜　＞内は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注３）評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国株式

銘柄		2023年5月23日現在 株数	評価額 外貨建金額	評価額 邦貨換算金額	業種等
		百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
VERIZON COMMUNICATIONS INC		0.95	3	473	コミュニケーション・サービス
EXXON MOBIL CORP		3	31	4,360	エネルギー
INTL BUSINESS MACHINES CORP		2.25	28	3,972	情報技術
ABBVIE INC		2.35	34	4,715	ヘルスケア
ALTRIA GROUP INC		1	4	622	生活必需品
PRUDENTIAL FINANCIAL INC		3.8	31	4,315	金融
ROYAL BANK OF CANADA		1.5	14	1,955	金融
CHEVRON CORP		0.45	6	949	エネルギー
AT&T INC		6	9	1,360	コミュニケーション・サービス
WILLIAMS COS INC		1.75	5	708	エネルギー
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC		0.9	2	388	生活必需品
OGE ENERGY CORP		4.5	16	2,255	公益事業
MANULIFE FINANCIAL CORP		10	19	2,678	金融
GILEAD SCIENCES INC		5.5	43	5,988	ヘルスケア
BANK OF MONTREAL		2.5	21	3,035	金融
BANK OF NOVA SCOTIA		0.5	2	342	金融
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額	46.95	275	38,123	
	銘柄数<比率>	16銘柄		<28.9%>	
		百株	千カナダ・ドル	千円	
(カナダ)					
CAN IMPERIAL BK OF COMMERCE		1.5	8	864	金融
GREAT-WEST LIFECO INC		5.25	20	2,103	金融
カナダ・ドル通貨計	株数、金額	6.75	28	2,968	
	銘柄数<比率>	2銘柄		<2.2%>	
		百株	千香港・ドル	千円	
(香港)					
SUN HUNG KAI PROPERTIES		5	52	921	不動産
PEOPLE'S INSURANCE CO GROU-H		570	180	3,196	金融
PING AN INSURANCE GROUP CO-H		10	54	972	金融
BANK OF CHINA LTD-H		460	150	2,660	金融
香港・ドル通貨計	株数、金額	1,045	438	7,751	
	銘柄数<比率>	4銘柄		<5.9%>	
		百株	千シンガポール・ドル	千円	
(シンガポール)					
DBS GROUP HOLDINGS LTD		12	37	3,816	金融
シンガポール・ドル通貨計	株数、金額	12	37	3,816	
	銘柄数<比率>	1銘柄		<2.9%>	
		百株	千台湾・ドル	千円	
(台湾)					
MEDIATEK INC		5	352	1,590	情報技術
台湾・ドル通貨計	株数、金額	5	352	1,590	
	銘柄数<比率>	1銘柄		<1.2%>	
		百株	千イギリス・ポンド	千円	
(イギリス)					
BHP GROUP PLC		11.25	26	4,559	素材
WOODSIDE ENERGY GROUP LTD		5.82	10	1,868	エネルギー

銘柄		2023年5月23日現在			業種等
		株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	千イギリス・ポンド	千円	
RIO TINTO PLC		1.75	8	1,488	素材
NATIONAL GRID PLC		4	4	761	公益事業
IMPERIAL BRANDS PLC		13.5	24	4,162	生活必需品
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC		8.25	22	3,807	生活必需品
イギリス・ポンド通貨計	株数、金額	44.57	96	16,649	
	銘柄数<比率>	6銘柄		<12.6%>	
		百株	千スイス・フラン	千円	
(スイス)					
SWISS RE AG		1.1	10	1,546	金融
ZURICH INSURANCE GROUP AG		0.88	37	5,817	金融
SWISS LIFE HOLDING AG-REG		0.6	32	4,960	金融
スイス・フラン通貨計	株数、金額	2.58	79	12,323	
	銘柄数<比率>	3銘柄		<9.3%>	
		百株	千ノルウェー・クローネ	千円	
(ノルウェー)					
DNB BANK		7.25	135	1,725	金融
ノルウェー・クローネ通貨計	株数、金額	7.25	135	1,725	
	銘柄数<比率>	1銘柄		<1.3%>	
		百株	千ブラジル・レアル	千円	
(ブラジル)					
CPFL ENERGIA SA		20	63	1,763	公益事業
ブラジル・レアル通貨計	株数、金額	20	63	1,763	
	銘柄数<比率>	1銘柄		<1.3%>	
		百株	千韓国・ウォン	千円	
(韓国)					
KT&G CORP		2.75	23,072	2,441	生活必需品
HANA FINANCIAL GROUP		5	20,950	2,216	金融
韓国・ウォン通貨計	株数、金額	7.75	44,022	4,657	
	銘柄数<比率>	2銘柄		<3.5%>	
		百株	千ユーロ	千円	
ユーロ(フランス)					
AXA SA		10.5	29	4,363	金融
国小計	株数、金額	10.5	29	4,363	
	銘柄数<比率>	1銘柄		<3.3%>	
		百株	千ユーロ	千円	
ユーロ(ドイツ)					
ALLIANZ SE-REG		1.4	29	4,436	金融
国小計	株数、金額	1.4	29	4,436	
	銘柄数<比率>	1銘柄		<3.4%>	
		百株	千ユーロ	千円	
ユーロ(スペイン)					
IBERDROLA SA		38	44	6,613	公益事業
国小計	株数、金額	38	44	6,613	
	銘柄数<比率>	1銘柄		<5.0%>	
		百株	千ユーロ	千円	
ユーロ(イタリア)					
ENEL SPA		71	42	6,421	公益事業

グローバル超好配当株式マザーファンド

銘柄		2023年5月23日現在			業種等
		株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	千ユーロ	千円	
SNAM SPA		52	26	3,948	公益事業
TERNA SPA		28.2	22	3,328	公益事業
国小計	株数、金額	151.2	91	13,699	
	銘柄数<比率>	3銘柄		<10.4%>	
ユーロ通貨計	株数、金額	201.1	194	29,112	
	銘柄数<比率>	6銘柄		<22.1%>	
ファンド合計	株数、金額	1,398.95	—	120,480	
	銘柄数<比率>	43銘柄		<91.3%>	

(注1) 邦貨換算金額は、2023年5月23日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

グローバル超好配当株式マザーファンド

運用報告書　第３期　（決算日　2022年11月24日）

（作成対象期間　2021年11月25日～2022年11月24日）

グローバル超好配当株式マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

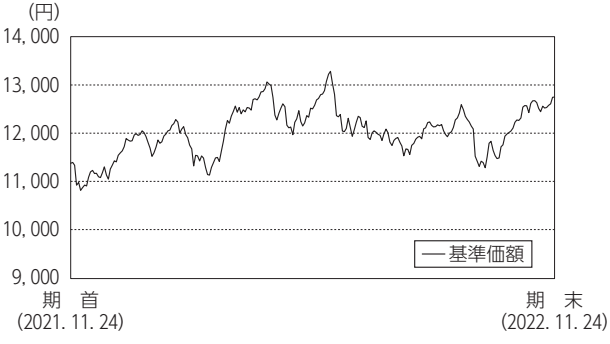
★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運　用　方　針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（ＤＲ（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		MSCI AC World指数(配当込み、円換算)		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率			
	円	%		%	%	%	%
(期首)2021年11月24日	11,376	—	15,281	—	95.2	—	1.3
11月末	10,981	△ 3.5	14,870	△ 2.7	95.4	—	1.3
12月末	11,634	2.3	15,424	0.9	98.6	—	0.5
2022年1月末	11,791	3.6	14,444	△ 5.5	98.4	—	—
2月末	11,543	1.5	14,343	△ 6.1	96.9	—	—
3月末	12,533	10.2	15,727	2.9	97.3	—	—
4月末	12,415	9.1	15,040	△ 1.6	97.9	—	—
5月末	12,691	11.6	15,082	△ 1.3	97.7	—	—
6月末	12,324	8.3	14,803	△ 3.1	97.7	—	—
7月末	11,810	3.8	15,252	△ 0.2	94.9	—	—
8月末	12,052	5.9	15,401	0.8	98.9	—	—
9月末	11,394	0.2	14,588	△ 4.5	97.7	—	—
10月末	12,541	10.2	15,781	3.3	99.1	—	—
(期末)2022年11月24日	12,751	12.1	15,712	2.8	99.0	—	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) MSCI AC World指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc.(「MSCI」)の承諾を得て、MSCI AC World指数(配当込み、米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数(配当込み、米ドルベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html]
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注5) 株式先物比率は買建比率−売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について
【基準価額・騰落率】
期首:11,376円　期末:12,751円　騰落率:12.1%
【基準価額の主な変動要因】
米国の金融引き締め懸念で金利が上昇したことや、ロシアによるウクライナ侵攻で地政学リスクが顕在化したことなどを背景に、世界株式市況が下落する中、配当収益が下支えとなり、株式要因は軽微な影響となりました。為替相場は、米ドルなどが対円で上昇(円安)したことがプラス要因となりました。このような環境下で、日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について
○世界株式市況
世界株式市況は下落しました。
世界株式市況は、良好な企業決算の発表や経済指標が支えとなり、当作成期首から2021年末にかけて高値圏で推移しました。その後は、FRB(米国連邦準備制度理事会)による金融引き締め懸念で金利が上昇したことや、ロシアによるウクライナ侵攻で地政学リスクが顕在化したことを受け、株価は2022年3月半ばにかけて下落しましたが、FRBの利上げ決定後はいったん反発しました。4月から6月半ばにかけては、インフレ率の予想以上の上昇を受けてFRBが利上げを加速するとの思惑が強まったことなどから下落しました。6月半ばにFRBが利上げ幅拡大を決定した後は、悪材料出尽くし観測などから株価は上昇に転じ、またインフレ率がピークアウトするとの期待感などもあり、8月中旬にかけて上昇が続きました。その後は、FRB議長が景気を犠牲にしてでもインフレを抑制する姿勢を強調したことや、予想以上のインフレ率の上昇で欧米の金利が上昇したこと、英国の財政悪化懸念から英国債が急落したこと、企業業績の見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、10月半ばにかけて下落しました。当作成期末にかけては、英国発の混乱が収束したことや、一部報道によりFRBが今後利上げ幅を縮小させるのではないかとの期待が高まったことから、株価は反発しました。
○為替相場
為替相場は対円で上昇しました。
為替相場は、当作成期首よりおおむねレンジ内での推移が続きましたが、米国の利上げ回数の増加観測などを受けて上昇しました。2022年に入ってからは、レンジ内での推移が続いた後、3月にFRB(米国連邦準備制度理事会)が政策金利見通しを大幅に引き上げたのに対し、日銀は指値オペを行い長期金利上昇の抑制を図るなど、日米の金融政策の相違がより明確となって、4月末にかけて円安が大きく進行しました。その後は、米国景気への懸念などからリスク回避姿勢が強まり下落しましたが、6月には米国で大幅な利上げが行われたことなどから、投資対象通貨は上昇しました。7月後半には、米国金利が低下に転じると日米金利差の縮小が意識され、円が買い戻されましたが、8月には、米国金利の上昇により日米金利差が再度拡大したことなどから、円安が進行しました。9月に入ると、FRBが大幅な金融引き締めを決定したのに対し、日銀は金融緩和政策の維持を決定したことで急速に円安が進行しました。これを受け、日本政府・日銀は円買い介入を実施したものの影響は限定的なものにとどまりました。当作成期末にかけては、米国の利上げペース鈍化観測から下落に転じ、投資対象通貨は上昇幅を縮めました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資します。ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行うことを基本とします。

・定量的なアプローチにより、予想配当利回りや配当の持続性と安定性、時価総額等の観点から投資対象ユニバースを選定します。
・投資対象ユニバースの中から、徹底したボトムアップアプローチにより、配当の持続性と安定性等に着目した定性的な分析・調査を行い、投資候補銘柄を選定します。
・投資候補銘柄の中から、ポートフォリオの地域・セクターの分散やリスクを考慮しつつ、ポートフォリオの予想配当利回りが相対的に高水準になるよう各銘柄の組入比率を決定します。

◆ポートフォリオについて

日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資しました。ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行うことを基本としました。

・定量的なアプローチにより、予想配当利回りや配当の持続性と安定性、時価総額等の観点から投資対象ユニバースを選定します。
・投資対象ユニバースの中から、徹底したボトムアップアプローチにより、配当の持続性と安定性等に着目した定性的な分析・調査を行い、投資候補銘柄を選定します。
・投資候補銘柄の中から、ポートフォリオの地域・セクターの分散やリスクを考慮しつつ、ポートフォリオの予想配当利回りが相対的に高水準になるよう各銘柄の組入比率を決定します。

国・地域別では、米国やスイス、英国などを組入上位としました。

個別銘柄では、GILEAD SCIENCES INC（米国）、ABBVIE INC（米国）、EXXON MOBIL CORP（米国）などを組入上位としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資します。ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行うことを基本とします。

・定量的なアプローチにより、予想配当利回りや配当の持続性と安定性、時価総額等の観点から投資対象ユニバースを選定します。
・投資対象ユニバースの中から、徹底したボトムアップアプローチにより、配当の持続性と安定性等に着目した定性的な分析・調査を行い、投資候補銘柄を選定します。
・投資候補銘柄の中から、ポートフォリオの地域・セクターの分散やリスクを考慮しつつ、ポートフォリオの予想配当利回りが相対的に高水準になるよう各銘柄の組入比率を決定します。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	59円
（株式）	(58)
（投資信託証券）	(0)
有価証券取引税	24
（株式）	(24)
その他費用	193
（保管費用）	(151)
（その他）	(41)
合計	276

（注1）費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
（注2）項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1)株式

（2021年11月25日から2022年11月24日まで）

		買付 株数	買付 金額	売付 株数	売付 金額
国内		千株 1.7 (—)	千円 4,068 (—)	千株 2.4	千円 6,062
外国	アメリカ	百株 91.9 (0.69)	千アメリカ・ドル 519 (—)	百株 93.39	千アメリカ・ドル 468
	カナダ	百株 4 (2.25)	千カナダ・ドル 15 (—)	百株 19.95	千カナダ・ドル 117
	オーストラリア	百株 — (—)	千オーストラリア・ドル — (—)	百株 0.85	千オーストラリア・ドル 17
	香港	百株 1,620 (—)	千香港・ドル 1,186 (—)	百株 690	千香港・ドル 805
	シンガポール	百株 2 (—)	千シンガポール・ドル 6 (—)	百株 —	千シンガポール・ドル —
	台湾	百株 45 (—)	千台湾・ドル 3,311 (△ 12)	百株 64	千台湾・ドル 3,145
	イギリス	百株 90.1 (2.07)	千イギリス・ポンド 171 (—)	百株 154.25	千イギリス・ポンド 133
	スイス	百株 5.83 (—)	千スイス・フラン 109 (△ 0)	百株 3.77	千スイス・フラン 49
	ノルウェー	百株 8 (—)	千ノルウェー・クローネ 293 (—)	百株 11	千ノルウェー・クローネ 381
	スウェーデン	百株 4 (—)	千スウェーデン・クローネ 87 (—)	百株 9	千スウェーデン・クローネ 174

グローバル超好配当株式マザーファンド

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外国	ブラジル	百株 20 (—)	千ブラジル・レアル 71 (—)	百株 —	千ブラジル・レアル —
	韓国	百株 8.85 (—)	千韓国・ウォン 59,003 (—)	百株 6.6	千韓国・ウォン 26,777
	中国	百株 38 (—)	千オフショア・人民元 83 (—)	百株 38	千オフショア・人民元 69
	ユーロ (オランダ)	百株 6 (—)	千ユーロ 8 (—)	百株 23.35	千ユーロ 31
	ユーロ (フランス)	百株 41.5 (—)	千ユーロ 66 (—)	百株 40.5	千ユーロ 60
	ユーロ (ドイツ)	百株 27.95 (—)	千ユーロ 51 (—)	百株 33.5	千ユーロ 44
	ユーロ (スペイン)	百株 40.5 (—)	千ユーロ 42 (—)	百株 2.5	千ユーロ 2
	ユーロ (イタリア)	百株 133.2 (—)	千ユーロ 81 (—)	百株 149.75	千ユーロ 84
	ユーロ (フィンランド)	百株 — (—)	千ユーロ — (—)	百株 12.45	千ユーロ 30
外国	ユーロ (ギリシャ)	百株 — (—)	千ユーロ — (—)	百株 14.5	千ユーロ 24
	ユーロ (ユーロ通貨計)	249.15 (—)	251 (—)	276.55	276

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2)投資信託証券

(2021年11月25日から2022年11月24日まで)

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	オーストラリア	千口 — (—)	千オーストラリア・ドル — (—)	千口 3.9 (—)	千オーストラリア・ドル 16 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 買付( )内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 売付( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株式

(2021年11月25日から2022年11月24日まで)

当期							
買付				売付			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
MEDIATEK INC (台湾)	1.7	7,412	4,360	CHEVRON CORP (アメリカ)	0.345	6,970	20,205
LONGFOR GROUP HOLDINGS LTD (ケイマン諸島)	10	6,214	621	SNAM SPA (イタリア)	9.5	5,861	617
VERIZON COMMUNICATIONS INC (アメリカ)	0.875	6,017	6,877	LONGFOR GROUP HOLDINGS LTD (ケイマン諸島)	10	5,316	531
IBERDROLA SA (スペイン)	4.05	5,852	1,444	IGM FINANCIAL INC (カナダ)	1.265	5,302	4,191
TERNA SPA (イタリア)	5.92	5,851	988	ALTRIA GROUP INC (アメリカ)	0.8	5,074	6,343
ALTRIA GROUP INC (アメリカ)	0.9	5,457	6,063	ABBVIE INC (アメリカ)	0.245	4,748	19,383
GILEAD SCIENCES INC (アメリカ)	0.595	5,448	9,157	VERIZON COMMUNICATIONS INC (アメリカ)	0.78	4,737	6,073
SNAM SPA (イタリア)	7.4	5,435	734	E. ON SE (ドイツ)	3.3	4,676	1,417
AT&T INC (アメリカ)	2	5,248	2,624	LUKOIL PJSC-SPON ADR (ロシア)	0.575	4,563	7,936
SWISS RE AG (スイス)	0.435	5,194	11,942	YARA INTERNATIONAL ASA (ノルウェー)	0.8	4,547	5,684

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内株式

銘柄		期首	当期末	
		株数	株数	評価額
		千株	千株	千円
医薬品（17.6%）				
武田薬品		—	0.4	1,615
情報・通信業（27.6%）				
ソフトバンク		1.2	1.7	2,532
卸売業（25.4%）				
住友商事		1.3	0.4	920
三菱商事		0.5	0.3	1,412
銀行業（10.4%）				
三井住友フィナンシャルG		—	0.2	959
保険業（19.0%）				
SOMPOホールディングス		0.5	0.3	1,748
MS&AD		0.5	—	—
		千株	千株	千円
合計	株数、金額	4	3.3	9,188
	銘柄数<比率>	5銘柄	6銘柄	<7.1%>

（注1）銘柄欄の（ ）内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
（注2）合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注3）評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国株式

銘柄	期首	当期末			業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
（アメリカ）					
VERIZON COMMUNICATIONS INC	—	0.95	3	514	コミュニケーション・サービス
EXXON MOBIL CORP	2.8	4	45	6,328	エネルギー
INTL BUSINESS MACHINES CORP	—	2.25	33	4,660	情報技術
CANADIAN NATURAL RESOURCES	4.5	—	—	—	エネルギー
ABBVIE INC	2.85	2.9	46	6,437	ヘルスケア
ALTRIA GROUP INC	—	1	4	626	生活必需品
PRUDENTIAL FINANCIAL INC	2.5	3.8	40	5,665	金融
ROYAL BANK OF CANADA	2.15	1.5	15	2,107	金融
CHEVRON CORP	1.55	0.6	11	1,539	エネルギー
AT&T INC	1	6	11	1,595	コミュニケーション・サービス
VALERO ENERGY CORP	1.3	—	—	—	エネルギー
WILLIAMS COS INC	4.5	7.8	26	3,674	エネルギー
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	—	1.75	7	1,017	生活必需品
OGE ENERGY CORP	5	9	35	4,974	公益事業
GILEAD SCIENCES INC	—	5.5	46	6,542	ヘルスケア
CAN IMPERIAL BK OF COMMERCE	1.35	—	—	—	金融
BANK OF MONTREAL	—	3.4	33	4,705	金融
BANK OF NOVA SCOTIA	2.35	1.5	7	1,109	金融
SBERBANK PJSC -SPONSORED ADR	17.5	—	—	—	金融

グローバル超好配当株式マザーファンド

銘柄		期首	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
LUKOIL PJSC-SPON ADR		3.4	—	—	—	エネルギー
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額	52.75	51.95	369	51,500	
	銘柄数＜比率＞	14銘柄	15銘柄		＜39.5%＞	
		百株	百株	千カナダ・ドル	千円	
(カナダ)						
CAN IMPERIAL BK OF COMMERCE		3.55	3.5	22	2,362	金融
GREAT-WEST LIFECO INC		—	2	6	667	金融
ROYAL BANK OF CANADA		1	—	—	—	金融
CANADIAN NATURAL RESOURCES		2	—	—	—	エネルギー
IGM FINANCIAL INC		12.65	—	—	—	金融
カナダ・ドル通貨計	株数、金額	19.2	5.5	29	3,030	
	銘柄数＜比率＞	4銘柄	2銘柄		＜2.3%＞	
		百株	百株	千オーストラリア・ドル	千円	
(オーストラリア)						
MACQUARIE GROUP LTD		0.85	—	—	—	金融
オーストラリア・ドル通貨計	株数、金額	0.85	—	—	—	
	銘柄数＜比率＞	1銘柄	—		＜—＞	
		百株	百株	千香港・ドル	千円	
(香港)						
HENDERSON LAND DEVELOPMENT		10	—	—	—	不動産
TINGYI (CAYMAN ISLN) HLDG CO		20	—	—	—	生活必需品
PAX GLOBAL TECHNOLOGY LTD		—	50	33	601	情報技術
PEOPLE'S INSURANCE CO GROU-H		80	570	142	2,537	金融
KUNLUN ENERGY CO LTD		20	—	—	—	公益事業
CHINA NATIONAL BUILDING MA-H		20	—	—	—	素材
BANK OF CHINA LTD-H		—	460	123	2,195	金融
香港・ドル通貨計	株数、金額	150	1,080	299	5,334	
	銘柄数＜比率＞	5銘柄	3銘柄		＜4.1%＞	
		百株	百株	千シンガポール・ドル	千円	
(シンガポール)						
DBS GROUP HOLDINGS LTD		10	12	42	4,291	金融
シンガポール・ドル通貨計	株数、金額	10	12	42	4,291	
	銘柄数＜比率＞	1銘柄	1銘柄		＜3.3%＞	
		百株	百株	千台湾・ドル	千円	
(台湾)						
MEDIATEK INC		—	5	352	1,574	情報技術
NOVATEK MICROELECTRONICS COR		14	—	—	—	情報技術
KMC KUEI MENG INTERNATIONAL		10	—	—	—	一般消費財・サービス
台湾・ドル通貨計	株数、金額	24	5	352	1,574	
	銘柄数＜比率＞	2銘柄	1銘柄		＜1.2%＞	
		百株	百株	千イギリス・ポンド	千円	
(イギリス)						
BHP GROUP PLC		—	11.25	27	4,618	素材
WOODSIDE ENERGY GROUP LTD		—	8.07	17	2,907	エネルギー

銘柄		期首	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千イギリス・ポンド	千円	
BAE SYSTEMS PLC		32	—	—	—	資本財・サービス
GSK		7.75	—	—	—	ヘルスケア
RIO TINTO PLC		0.5	0.75	4	677	素材
UNITED UTILITIES GROUP PLC		18.5	—	—	—	公益事業
LEGAL & GENERAL GROUP PLC		46	—	—	—	金融
NATIONAL GRID PLC		—	4	4	693	公益事業
IMPERIAL BRANDS PLC		—	13.5	29	4,956	生活必需品
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC		1.15	8.25	27	4,648	生活必需品
BHP GROUP PLC		2	—	—	—	素材
イギリス・ポンド通貨計	株数、金額	107.9	45.82	110	18,501	
	銘柄数<比率>	7銘柄	6銘柄		<14.2%>	
		百株	百株	千スイス・フラン	千円	
(スイス)						
SWISS RE AG		—	1.1	8	1,328	金融
ZURICH INSURANCE GROUP AG		0.12	0.88	39	5,830	金融
SWISS LIFE HOLDING AG-REG		0.4	0.6	30	4,450	金融
スイス・フラン通貨計	株数、金額	0.52	2.58	78	11,609	
	銘柄数<比率>	2銘柄	3銘柄		<8.9%>	
		百株	百株	千ノルウェー・クローネ	千円	
(ノルウェー)						
DNB BANK		7.25	7.25	135	1,905	金融
YARA INTERNATIONAL ASA		3	—	—	—	素材
ノルウェー・クローネ通貨計	株数、金額	10.25	7.25	135	1,905	
	銘柄数<比率>	2銘柄	1銘柄		<1.5%>	
		百株	百株	千スウェーデン・クローネ	千円	
(スウェーデン)						
VOLVO AB-B SHS		5	—	—	—	資本財・サービス
スウェーデン・クローネ通貨計	株数、金額	5	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—		<—>	
		百株	百株	千ブラジル・レアル	千円	
(ブラジル)						
CPFL ENERGIA SA		—	20	67	1,761	公益事業
ブラジル・レアル通貨計	株数、金額	—	20	67	1,761	
	銘柄数<比率>	—	1銘柄		<1.4%>	
		百株	百株	千韓国・ウォン	千円	
(韓国)						
KT&G CORP		0.35	4	38,040	3,963	生活必需品
HANA FINANCIAL GROUP		2.15	0.75	3,168	330	金融
韓国・ウォン通貨計	株数、金額	2.5	4.75	41,208	4,293	
	銘柄数<比率>	2銘柄	2銘柄		<3.3%>	
		百株	百株	千ユーロ	千円	
ユーロ(オランダ)						
ING GROEP NV		16	—	—	—	金融

グローバル超好配当株式マザーファンド

銘柄		期首	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千ユーロ	千円	
RANDSTAD NV		1.35	—	—	—	資本財・サービス
国小計	株数、金額	17.35	—	—	—	
	銘柄数<比率>	2銘柄	—		<—>	
		百株	百株	千ユーロ	千円	
ユーロ（フランス）						
AXA SA		9.5	10.5	28	4,129	金融
国小計	株数、金額	9.5	10.5	28	4,129	
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄		<3.2%>	
		百株	百株	千ユーロ	千円	
ユーロ（ドイツ）						
E.ON SE		6	—	—	—	公益事業
ALLIANZ SE-REG		0.2	0.65	13	1,925	金融
国小計	株数、金額	6.2	0.65	13	1,925	
	銘柄数<比率>	2銘柄	1銘柄		<1.5%>	
		百株	百株	千ユーロ	千円	
ユーロ（スペイン）						
IBERDROLA SA		—	38	40	5,927	公益事業
国小計	株数、金額	—	38	40	5,927	
	銘柄数<比率>	—	1銘柄		<4.5%>	
		百株	百株	千ユーロ	千円	
ユーロ（イタリア）						
POSTE ITALIANE SPA		18	—	—	—	金融
ENEL SPA		2.75	—	—	—	公益事業
SNAM SPA		36	15	7	1,047	公益事業
TERNA SPA		3	28.2	20	2,971	公益事業
国小計	株数、金額	59.75	43.2	27	4,018	
	銘柄数<比率>	4銘柄	2銘柄		<3.1%>	
		百株	百株	千ユーロ	千円	
ユーロ（フィンランド）						
UPM-KYMMENE OYJ		0.7	—	—	—	素材
FORTUM OYJ		11.75	—	—	—	公益事業
国小計	株数、金額	12.45	—	—	—	
	銘柄数<比率>	2銘柄	—		<—>	
		百株	百株	千ユーロ	千円	
ユーロ（ギリシャ）						
HELLENIC TELECOMMUN ORGANIZA		14.5	—	—	—	コミュニケーション・サービス
国小計	株数、金額	14.5	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—		<—>	
ユーロ通貨計	株数、金額	119.75	92.35	110	16,001	
	銘柄数<比率>	12銘柄	5銘柄		<12.3%>	
ファンド合計	株数、金額	502.72	1,327.2	—	119,806	
	銘柄数<比率>	53銘柄	40銘柄		<91.9%>	

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
（注2）<　>内は純資産総額に対する評価額の比率。
（注3）評価額の単位未満は切捨て。

(3)外国投資信託証券

銘柄		期首	当期末		
		口数	口数	評価額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
		千口	千口	千オーストラリア・ドル	千円
(オーストラリア)					
STOCKLAND		3.9	—	—	—
合計	口数、金額	3.9	—	—	—
	銘柄数<比率>	1銘柄	—		<—>

■投資信託財産の構成

2022年11月24日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	128,994	98.2
コール・ローン等、その他	2,345	1.8
投資信託財産総額	131,339	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月24日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝139.26円、1カナダ・ドル＝104.28円、1オーストラリア・ドル＝93.86円、1香港・ドル＝17.81円、1シンガポール・ドル＝101.15円、1台湾・ドル＝4.466円、1イギリス・ポンド＝168.03円、1スイス・フラン＝147.93円、1ノルウェー・クローネ＝14.02円、1スウェーデン・クローネ＝13.32円、1ブラジル・レアル＝26.017円、100韓国・ウォン＝10.42円、1オフショア・人民元＝19.462円、1タイ・バーツ＝3.86円、1ユーロ＝144.97円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産(119,561千円)の投資信託財産総額(131,339千円)に対する比率は、91.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年11月24日現在

項目	当期末
(A)資産	**132,428,811円**
コール・ローン等	1,803,998
株式(評価額)	128,994,232
未収入金	1,089,101
未収配当金	541,480
(B)負債	**2,123,281**
未払金	2,123,281
(C)純資産総額(A－B)	**130,305,530**
元本	102,190,554
次期繰越損益金	28,114,976
(D)受益権総口数	**102,190,554口**
1万口当り基準価額(C／D)	**12,751円**

＊期首における元本額は96,999,738円、当作成期間中における追加設定元本額は16,275,189円、同解約元本額は11,084,373円です。
＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
グローバル超好配当株式ファンド(資産成長型) 54,400,050円
グローバル超好配当株式ファンド(隔月決算型) 47,790,504円
＊当期末の計算口数当りの純資産額は12,751円です。

■損益の状況

当期　自 2021年11月25日　至 2022年11月24日

項目		当期
(A)配当等収益		**6,432,039円**
受取配当金		6,421,525
受取利息		10,109
その他収益金		436
支払利息	△	31
(B)有価証券売買損益		**9,703,738**
売買益		34,451,203
売買損	△	24,747,465
(C)その他費用	△	**1,981,450**
(D)当期損益金(A＋B＋C)		**14,154,327**
(E)前期繰越損益金		**13,351,465**
(F)解約差損益金	△	**2,315,627**
(G)追加信託差損益金		**2,924,811**
(H)合計(D＋E＋F＋G)		**28,114,976**
次期繰越損益金(H)		**28,114,976**

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。